

別府市ではコミュニティ・スクールを推進します

地域の子どもは地域で育てます

別府市教育委員会では、「地域の子どもは地域で育てる」の理念のもと、保護者や地域の皆さんに様々なご協力やご支援をいただき、平成27年度から一部の小・中学校に、平成28年度には別府市立の全ての小・中学校にコミュニティ・スクールを導入し、子どもたちの健全な育成を進めています。

☎ 教育政策課 ☎ (21) 1572

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールでは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えるといった「地域とともにある学校づくり」を進めています。



▲ 学校運営協議会の様子

「学校運営協議会」が設置されている学校を「コミュニティ・スクール」といいます。

学校運営協議会は、保護者や地域の皆さんなどで構成される機関で、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりして、学校の様々な問題解決に責任をもって参画していきます。

コミュニティ・スクールの取組は、子どもたちや保護者、地域に様々な利点を生みます。

■子どもたちにとってのメリット
*子どもたちの学びや体験活動が充実します。

*地域の担い手としての自覚が高まります。
*防災・防災などの対策によって

具体的な活動内容

平成28年度には次のような活動を行いました。

■地域ボランティアの協力

*生徒と一緒に夏祭り後のごみ拾い活動

*児童生徒と一緒にあいさつ運動

*花いっぱい運動

*地域学習や丸付けなどの学習支援

*読み聞かせ
*公民館などでの文化交流

■保護者の協力

*児童生徒と一緒に学校清掃
*水泳見守りや体験学習などの学習支援

*親子で地域ごみ拾い活動



▲ 地域の方と一緒に稲刈り体験



*学校を核として地域住民のつながりが広がります。
*地域の防犯・防災体制などが強化されます。



▲ 祭りの後のごみ拾い活動



▲ 地域の方に見守られながらの避難訓練

義務教育9年間の学びの充実

別府市では、中学校区ごとに中学校区連絡会を開催し、中学校区内の学校運営協議会で統一した取組も行っています。

具体的な取組として、ある中学校区では、人通りの多い通りを「あいさつ通り」と名付け、毎朝小学生、中学生、保護者、地域の皆さんであいさつを交わす活動に取り組んでいます。

また、「ゴミのない町 明るいあいさつ〇〇中学校区」といったスローガンを掲げ、地区全体で清掃活動やあいさつ運動を実施している中学校区や、子育てをテーマ

にした合同教育講演会を開催している中学校区もあります。

これから目指す取組

保護者や地域の皆さんの学校に対するかわり方を、これまでの「学校に協力する」というサポート的なものから、今後は「学校と一緒に取り組む」という協働的なものに移行し、子どもたちの一層の健全育成と地域の活性化を図っていきます。

そこで、学校運営協議会において次の手順で目標の実現を目指していきます。

- ① 地域が願う子どもたちの姿(目標)について、協議、決定します。
- ② その目標の実現に向け、保護者・地域・学校のそれぞれが取組を考えます。
- ③ 保護者・地域・学校がそれぞれ協力しながら取組を進めます。

コミュニティ・スクールに参加して「地域の子どもは地域で育てていきたい」と思われる方は、道で会った子どもたちにあいさつをすることから始めてみてはいかがでしょうか。

中学校区ごとに取組が違いますので、詳しい内容については、最寄の学校にお問い合わせください。